

所属	リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻 修士課程	修了年度	2024 年度
氏名	井上 典子	指導教員 (主査)	春原 則子

論文題目	失語症が育児に与える影響と言語聴覚士に求められる役割 ー失語症のある母親へのインタビュー調査の分析ー
------	---

本文概要
<p>論文要旨 (英文) In this study, interviews were conducted with eight mother PWA (People With Aphasia) who had aphasia while parenting their children. Aphasia causes communication difficulties with their children and those around them related to the children, as well as an effect on her interaction with other mothers. Therefore, the mother PWA were concerned about the influence of aphasia on their children and that experienced changes in their role as mothers. It was shown that the children were initially confused about communicating with their mothers, but as they grew, their abilities to cope with aphasia improved and they were able to fulfill the role of communication support.</p> <p>As for the support required by speech-language-hearing therapists for PWA in parenting, it is important to understand the situation of mother PWA based on the ICF concept, and provide functional training at healthcare to improve communication activities necessary for parenting. In addition, support including the community is considered necessary to achieve the goal of the mother's in their role.</p> <p>論文要旨 (和文) 本邦における育児中の PWA (People With Aphasia ; 以下 PWA) のコミュニケーションに関連する実態を把握し、言語聴覚士 (以下 ST) に必要とされる対応や支援を検討することを目的とした。参加者は機縁法により募った母親 PWA8 名で、発症時 30~40 歳代、発症時の子どもの年齢は 0~12 歳であった。インタビューガイドに基づいて半構造化面接を行い、逐語録を SCAT (大谷, 2011) のフォーマットを援用してコーディングし、ストーリーラインを記述したうえで、分析を行った。</p> <p>その結果、失語症は、子どもとのコミュニケーションや、教師とのやりとりなど子どもに関係する周囲とのコミュニケーションに影響をもたらしていた。母親 PWA は、現在だけでなく、将来的な子どもに対する失語症の影響を懸念していた。また、母親 PWA は、母親役割を果たせずに葛藤しているが、失語症の改善に伴って果たせるようになる役割のあることも示された。一方子どもは、当初は母親とのコミュニケーションへの戸惑いを感じるが、成長にしたがい失語症に対する対応力が向上し、意思疎通支援の役割が果たせるようになるなど、子どもの変化も示された。ST から育児に関して何らかの支援を受けた参加者は 1 名のみであった。</p> <p>今回の調査により、PWA が母親役割を果たすために、ST は ICF の概念で PWA の状況を捉え、子どもとのコミュニケーションだけでなく、子どもに関係する周囲とのコミュニケーションにも注目する必要性が示唆された。育児に必要なコミュニケーション活動の向上をめざす言語機能訓練だけでなく、実用的訓練も必要である。また、母親 PWA が抱える、失語症が子どもにおよぼす影響への懸念に対しては、地域の保健師などとの連携により、子どもやその他の家族を含めた包括的な支援が必要であると考えられた。さらに、PWA が母親役割を果たす中で感じる様々な懸念や不安の解消には、意思疎通支援者の派遣、ピアカウンセリングや母親 PWA 同士の情報交換なども有効ではないかと考えられた。</p>